

令和4年度 昭和館運営事業の実施状況について

(令和5年1月末日現在)

1 昭和館入場者状況

・新型コロナウイルス感染症対策

令和3年10月1日(金)に緊急事態宣言が解除された以降も、引き続き新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、手指消毒、検温、マスクの着用、来館者の連絡先記入、3密を防止するための各階の入館者数の制限、館内の一斉清掃等を徹底した。

公益財団法人日本博物館協会による博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改定(緩和)を受け、令和4年1月1日(火)から基本的な感染拡大予防対策(手指消毒、検温、マスク、一斉清掃等)のみを引き続き実施することとし、来館者の利便性を図った。

(1) 総入場者数

118,234人(3年度同期 66,099人 対比78.9%増)

なお、平成11年度以降の入場者総数は、6,561,157人となった。

(2) 各展示室等の入場者内訳

	令和4年度入場者数 (令和4年4月~令和5年1月)	令和3年度同期入場者数 (令和3年4月~令和4年1月)	対比
ア 常設展示室	41,168人	19,845人	107.4%増
個人有料入場者	14,478人	8,440人	71.5%増
団体有料入場者	1,058人	446人	137.2%増
無料入場者	25,632人	10,959人	133.9%増
小・中学生	21,580人	9,207人	134.3%増
イ 映像・音響室	15,938人	10,032人	58.9%増
ウ 図書室	7,753人	4,905人	58.1%増
エ 特別企画展	43,209人	24,471人	76.6%減
オ ニュースシアター	10,166人	6,846人	48.5%増
計	118,234人	66,099人	78.9%増

昭和館利用状況(令和5年1月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
常設 展示 室	65歳以上	172	208	156	106	197	167	196	253	172	109	1,736
	大人	823	1,133	745	920	1,717	898	920	1,030	786	487	9,459
	高・大学生	136	476	270	239	256	186	167	177	193	61	2,161
	小・中学生	118	645	238	328	648	281	354	759	235	673	4,279
	ぐるっとパス	58	144	114	105	112	91	115	200	98	85	1,122
	小計	1,307	2,606	1,523	1,698	2,930	1,623	1,752	2,419	1,484	1,415	18,757
	遺族会	0	0	0	0	0	0	44	20	78	0	142
	大人	87	103	19	43	96	39	151	119	100	4	761
	高・大学生	23	55	21	0	0	5	22	26	2	1	155
	小・中学生	374	1,604	2,964	1,825	296	1,707	1,880	2,833	2,472	1,346	17,301
小計	484	1,762	3,004	1,868	392	1,751	2,097	2,998	2,652	1,351	18,359	
中計(ア)	1,791	4,368	4,527	3,566	3,322	3,374	3,849	5,417	4,136	2,766	37,116	
招待券	376	207	321	265	759	165	219	310	239	157	3,018	
未就学児	7	23	14	31	57	21	21	25	18	17	234	
身体障害者等	92	84	50	84	138	91	79	64	55	63	800	
小計(イ)	475	314	385	380	954	277	319	399	312	237	4,052	
計(ア)+(イ)	2,266	4,682	4,912	3,946	4,276	3,651	4,168	5,816	4,448	3,003	41,168	
大人	1,395	1,279	989	1,081	1,799	1,147	1,273	1,363	1,099	850	12,275	
高・大学生	58	38	68	66	115	27	19	39	19	28	477	
小・中学生	190	228	258	307	426	144	522	359	323	429	3,186	
計	1,643	1,545	1,315	1,454	2,340	1,318	1,814	1,761	1,441	1,307	15,938	
大人	607	737	476	646	980	590	525	584	436	498	6,079	
高・大学生	37	59	78	35	57	30	21	41	25	39	422	
小・中学生	73	67	88	193	319	98	95	137	67	115	1,252	
計	717	863	642	874	1,356	718	641	762	528	652	7,753	
特別企画展	10,796	4,929	21	2,815	7,196	3,840	3,744	5,476	4,297	95	43,209	
ニュースアター	1,158	1,161	988	1,136	1,512	1,057	866	911	604	773	10,166	
合計 + + + +	16,580	13,180	7,878	10,225	16,680	10,584	11,233	14,726	11,318	5,830	118,234	

		昨年度同期累計	A-B
個 人	65歳以上	901	835
	大人	5,921	3,538
	高・大学生	944	1,217
	小・中学生	2,165	2,114
	ぐるっとパス	674	448
	小計	10,605	8,152
	遺族会	20	122
	大人	206	555
	高・大学生	220	-65
	小・中学生	7,042	10,259
小計	7,488	10,871	
中計(ア)	18,093	19,023	
招待券	1,124	1,894	
未就学児	199	35	
身体障害者等	429	371	
小計(イ)	1,752	2,300	
計(ア)+(イ)	19,845	21,323	
大人	7,996	4,279	
高・大学生	430	47	
小・中学生	1,606	1,580	
計	10,032	5,906	
大人	4,150	1,929	
高・大学生	161	261	
小・中学生	594	658	
計	4,905	2,848	
特別企画展	24,471	18,738	
ニュースアター	6,846	3,320	
合計 + + + +	66,099	52,135	

令和4年度 特別企画展・巡回特別企画展等入場者状況

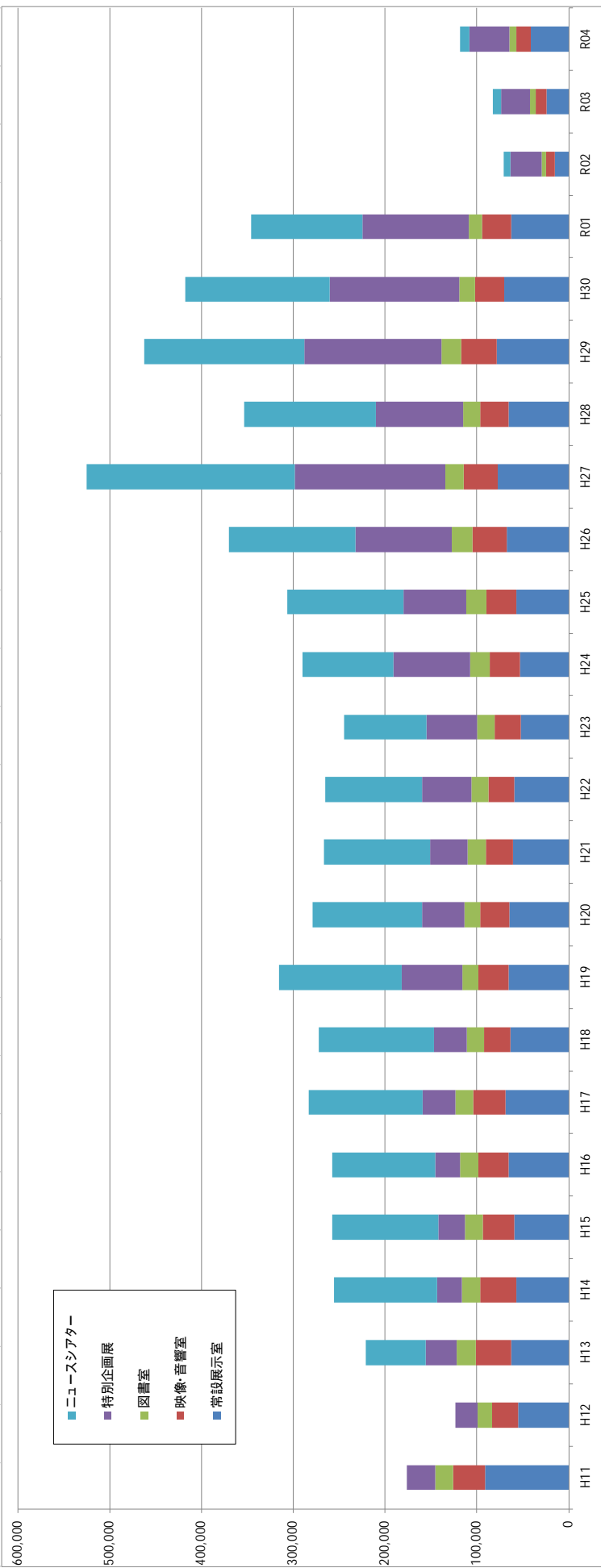
内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特別企画展「SF・冒険・レトロフューチャー×リメイク ～挿絵画家 桜島勝一と小松崎茂の世界～」 3/12～5/8	5,159	2,710											7,869
「うつりゆく昭和の九段下界隈」(写真展) 3/19～5/8	5,619	2,151											7,770
特別企画展「九段会館がみた昭和」 「お菓子の記憶～甘くて苦い思い出たち」 7/16～9/4(イベント含)				2,723	7,163 (イベント)	989							10,875
「子ども囃ヶ間見学デー」 昭和館のホーム ページ「キッズナビ」へリンクすることで参加協 力 8/3～8/4													0
定期語り部講話	18	31	21	23	33	48	32	23	25	16			270
紙芝居定期上演会													
教員のための博物館体験(中止)		37		69		42		52		79			279
「乗り物のある風景－昭和のくらしと交通事情」(写 真展)9/10～12/18						2,761	3,712	4,228	2,350				13,051
昭和館・しょうけい館・平和祈念展示資料館3館連携 企画展「くらしにみる昭和の時代 神奈川展」 (神奈川県)11/18～11/26								943					943
特別企画展「くらしにみる昭和の時代 沖縄展」 (沖縄県)11/30～12/10								230	1,922				2,152
特別企画展「時代をまとう女性たち」(仮称) 3/11～5/7													0
「子どもたちの戦中・戦後」(写真展) 3/18～5/7													0
合 計	10,796	4,929	21	2,815	7,196	3,840	3,744	5,476	4,297	95	0	0	43,209

昭和館入場者状況の推移(平成11年度～令和4年度)

	常設展示室							合計	映像・音響室	図書室	特別企画展	ニュースコーナー	総計
	大人	高校・大学生	小・中学生	ぐるっとバス	無料								
平成11年度	84,620	2,479	3,737	-	-	90,836	19,398	35,236	19,398	31,142	-	176,612	
平成12年度	40,457	1,973	10,186	-	2,914	55,530	16,370	27,661	16,370	24,112	-	123,673	
平成13年度	36,830	2,396	19,739	-	3,610	62,575	20,616	38,866	20,616	33,903	65,124	221,084	
平成14年度	29,847	3,373	19,710	-	4,016	56,946	20,622	39,286	20,622	26,204	112,402	255,460	
平成15年度	28,802	2,725	22,713	-	5,235	59,475	19,072	34,328	19,072	28,953	115,594	257,422	
平成16年度	29,862	3,140	27,162	-	5,592	65,756	19,573	33,046	19,573	26,920	112,164	257,459	
平成17年度	30,288	2,596	29,502	-	6,265	68,651	19,449	35,416	19,449	35,611	124,259	283,386	
平成18年度	28,407	2,919	25,504	-	6,363	63,193	18,465	29,225	18,465	35,848	125,484	272,215	
平成19年度	26,845	3,611	27,519	-	7,605	65,580	17,617	32,683	17,617	66,280	133,564	315,724	
平成20年度	23,469	3,245	31,847	-	6,082	64,643	17,270	32,101	17,270	45,719	119,418	279,151	
平成21年度	20,997	2,412	28,736	2,540	6,059	60,744	19,898	29,787	19,898	40,627	115,523	266,579	
平成22年度	21,076	2,605	28,051	2,102	5,194	59,028	19,011	28,388	19,011	53,423	105,242	265,092	
平成23年度	18,400	3,347	24,067	1,815	4,868	52,497	19,130	28,410	19,130	55,293	88,989	244,319	
平成24年度	19,340	2,644	24,419	1,662	5,206	53,271	20,984	33,092	20,984	83,568	99,329	290,244	
平成25年度	20,952	3,173	24,932	1,636	6,284	56,977	22,013	32,653	22,013	68,427	126,225	306,295	
平成26年度	20,367	3,225	33,335	1,884	8,524	67,335	22,523	37,692	22,523	104,753	138,008	370,311	
平成27年度	28,362	3,689	34,660	2,559	7,667	76,937	20,499	37,252	20,499	163,928	226,440	525,056	
平成28年度	21,932	3,264	33,706	1,913	4,461	65,276	18,781	31,007	18,781	95,210	143,326	353,600	
平成29年度	23,737	3,152	44,970	1,795	5,091	78,745	21,449	38,110	21,449	149,538	174,407	462,249	
平成30年度	24,890	4,060	34,244	1,818	5,572	70,584	17,626	31,176	17,626	141,383	156,586	417,355	
令和元年度	22,094	3,227	30,812	1,730	4,655	62,518	14,095	32,285	14,095	115,478	121,684	346,060	
令和2年度	8,117	805	3,792	661	1,695	15,070	4,573	10,116	4,573	33,389	7,966	71,114	
令和3年度	8,714	1,366	10,939	848	2,047	23,914	5,832	12,246	5,832	31,583	8,888	82,463	
令和4年度 (令和5年1月31日現在)	12,098	2,316	21,580	1,122	4,052	41,168	7,753	15,938	7,753	43,209	10,166	118,234	
合計	630,503	67,742	595,862	24,085	119,057	1,437,249	422,619	736,000	422,619	1,534,501	2,430,788	6,561,157	

昭和館入場者状況の推移(平成11年度～令和4年度)

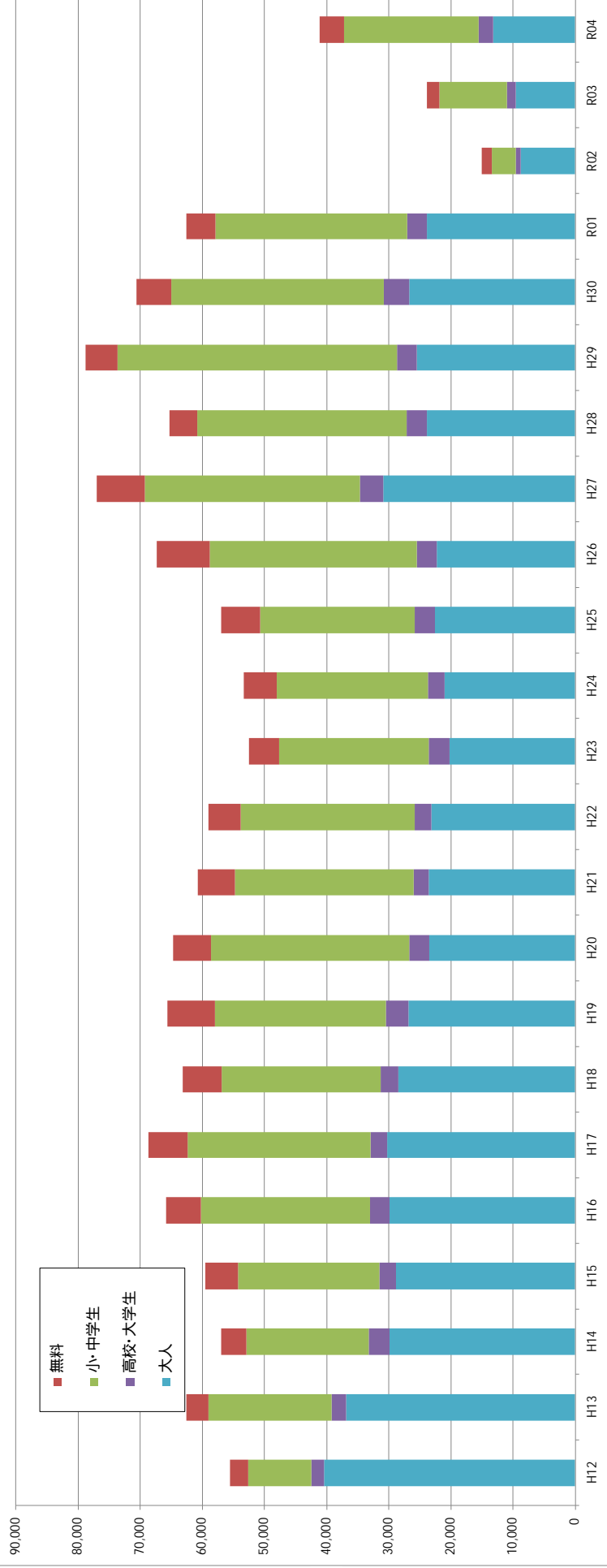
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	合計
常設展示室	90,836	55,530	62,575	56,946	59,475	66,756	68,651	63,193	65,580	64,643	60,744	59,028	52,497	53,271	56,977	67,335	76,837	65,276	78,745	70,584	62,518	15,070	23,914	41,170	1,437,251
映像・音響室	35,236	27,661	38,866	39,286	34,328	33,046	35,416	29,225	32,683	32,101	29,787	28,388	28,410	33,092	32,653	37,692	37,252	31,007	38,110	31,176	32,285	10,116	12,246	15,938	736,000
図書室	19,398	16,370	20,616	20,622	19,072	19,573	19,449	18,465	17,617	17,270	19,898	19,011	19,130	20,984	22,013	22,523	20,499	18,781	21,449	17,626	14,095	4,573	5,832	7,753	422,619
特別企画展	31,142	24,112	33,903	26,204	28,953	26,920	35,611	35,848	66,280	45,719	40,627	53,423	55,293	83,568	68,427	104,753	163,928	95,210	149,538	141,383	115,478	33,389	31,563	43,209	1,534,501
ニュースシアター	-	-	65,124	112,402	115,594	112,164	124,259	125,484	133,564	119,418	115,523	105,242	88,889	99,329	126,225	138,008	226,440	143,326	174,407	156,586	121,684	7,966	8,888	10,166	2,430,788
総計	176,612	123,673	221,084	255,460	257,422	257,459	283,386	272,215	315,724	279,151	266,579	265,092	244,319	290,244	306,295	370,311	525,056	353,600	462,249	417,355	346,060	71,114	82,463	118,236	6,561,159



令和4年度は令和5年1月31日現在の数字。

昭和館入場者(常設展示室)状況の推移(平成11年度～令和4年度)

	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	合計
常設展示室																									
大人	84,620	40,457	36,830	29,847	28,802	29,862	30,288	28,407	26,845	23,469	23,537	23,178	20,215	21,002	22,588	22,251	30,921	23,845	25,532	26,708	23,824	8,778	9,562	13,222	654,590
高校・大学生	2,479	1,973	2,396	3,373	2,725	3,140	2,596	2,919	3,611	3,245	2,412	2,605	3,347	2,644	3,173	3,225	3,689	3,264	3,152	4,060	3,227	805	1,366	2,316	67,742
小・中学生	3,737	10,186	19,739	19,710	22,713	27,162	29,502	25,504	27,519	31,847	28,736	28,051	24,067	24,419	24,932	33,335	34,860	33,706	44,970	34,244	30,812	3,792	10,939	21,580	595,862
無料	-	2,914	3,610	4,016	5,235	5,592	6,265	6,363	7,605	6,082	6,059	5,194	4,868	5,206	6,284	8,524	7,667	4,461	5,091	5,572	4,655	1,695	2,047	4,052	119,057
総計	90,836	55,530	62,575	56,946	59,475	65,756	68,651	63,193	65,580	64,643	60,744	59,028	52,497	53,271	56,977	67,335	76,937	65,276	78,745	70,584	62,518	15,070	23,914	41,170	1,396,081



令和4年度は令和5年1月31日現在の数字。

2 広報活動の実施状況

(1) 昭和館事業のPR活動等

昭和館事業内容のPRのため、東京メトロ九段下駅4出口、東西線2番ホーム、半蔵門線3番ホームの電飾掲示板に掲示し事業内容のPR活動を行い、都営新宿線車内の窓上にもポスターを掲示した。さらに、JR飯田橋駅構内に電飾看板を掲示し、JRの利用客にもPR活動を行った。

さらに、東京メトロ・東京都交通局一日乗車券特典ガイド「ちかとく」、JTBや千代田区等のガイドブック、毎月発行される千代田区報等に当館の紹介記事を掲載した。

その他、読売新聞、東京新聞、産経新聞、毎日新聞、日本教育新聞等に広報記事を掲載した。

(2) 広報資料の送付等

8頁の広報活動状況のとおり、「昭和館館報」については、令和4年8月に都道府県、政令指定都市、教育委員会、東京特別区、全国の老人クラブ連合会、各省庁図書館等に対して送付した。なお、都道府県遺族会、類似施設、大学図書館等には「昭和のくらし研究」も併せて送付した。令和3年6月上旬に全国の公立小・中・中等学校に「昭和館だより第36号」を送付し、11月上旬に、全国の公立小・中学校に対して「昭和館だより第37号」を送付した。

さらに、全国の公立中学校・高等学校に「中学生・高校生ポスターコンクール」のチラシ、全国の小・中学校へ貸出キット、写真展のチラシを送付し周知を図った。

上記とは別に、令和4年8月上旬に千代田区の小学校の全校生徒、千代田区を除く22区と9市の小学校5年生に「昭和館だより第38号」と作文コンクールのチラシを送付した。また12月上旬に来館した中学校と高等学校に対して、中学生・高校生ポスターコンクールのチラシを送付した。

また、1都4県の小・中・高等学校へ「語り部講師派遣」のチラシを送付し、来館促進及び周知を図った。

(3) 「昭和館だより」の発行

昭和館の活動を学校等に随時伝えるため、「昭和館だより第38号」、「昭和館だより第39号」を、令和4年6月と令和4年11月に発行し、(2)に記載した教育関係機関に発送した。

(4) 昭和館の刊行物の発刊

令和3年度の昭和館の活動状況をまとめた「昭和館館報」(第23号)を令和4年7月に発刊した。

「昭和のくらし研究」(第21号)を令和5年3月に発刊予定。

広 報 活 動 状 況

1 地方公共団体等への「昭和館館報」「昭和のくらし研究」の送付

広報対象機関名	館報23号	昭和のくらし研究 20号	実施日
都道府県	47	—	2022年 8月
政令指定都市	20	—	
教育委員会（首都圏）	241	—	
東京特別区	23	—	
都道府県遺族会	47	47	
全国の老人クラブ連合会	60	—	
類似施設	326	329	
資料寄贈者（個人：65）（団体：58）・オーラルヒストリー関係者	130	—	
大学図書館等	181	208	
遺族会・運営専門委員会・国会図書館・各省庁図書館	25	2	

国会図書館は各2冊

2 全国の学校等への広報資料の送付

広報対象機関名	学校数	学校向け広報誌 「昭和館だより38号」	貸出キット チラシ	昭和館見学 作文コンクール	語り部講師 派遣チラシ	実施時期
全国の公立小学校	19,500	19,500	19,500	—	—	2022年 6月
全国の公立中学校・中等教育学校	10,300	10,300	10,300	—	—	
全国の公立高等学校	5,400	5,400	5,400	—	—	
東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県の公立小・中・高等学校	7,003	—	—	—	7,003	7月 8月
令和3年度来館小・中・高等学校（23区9市除く）	137	1370（×10部）	—	129	137	
千代田区内の公立小学校（全校生徒）	8	3,720	—	8	8	
（千代田区を除く）東京都の校長会等で配布依頼した公立小学校（5年生）	1,053	114,780	—	1,053	1,053	

広報対象機関名	学校数等	学校向け広報誌 「昭和館だより39号」	中学生・高校生 ポスターコンクール	実施時期
全国の公立小学校	19,500	19,500		2022年 11月
全国の公立中・中等教育学校	10,300	10,300	10,300	
全国の公立高等学校	5,400	—	5,400	

3 新聞記事、広告媒体への掲載

広報媒体	掲 載	方 法	内 容	実施時期	備考
WEB	e-navita	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	東京アートファン	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	【PATW】楽天グループ「無料/バンフレット掲載アプリ」	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	ツーリストガイド	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	JNTO（日本政府観光局）	紹介記事	昭和館の案内	2022年	無料
WEB	Japan Sports Journey（東京観光財団）	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	ちかたくWEB	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	JNTO（日本政府観光局）	紹介記事	昭和館の案内	2022年	無料
WEB	東京観光GOTOKYO	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	ナビタイムジャパン	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	千代田区観光協会HP	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	JAF	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	ジョルダン	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
ゲームアプリ	J R 東日本「トレスご」	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
ガイドブック	地球の歩き方東京	紹介記事	昭和館の案内	2022年8月	無料
ガイドブック	東京観光バリアフリー情報ガイド	紹介記事	昭和館の案内	2022年版	無料
書籍/電子書籍	岩崎書店「未来をつくる！新しい平和学習」	紹介記事	昭和館の紹介	2022年版	無料
広報誌	ちかたく（日・英版）	紹介記事	昭和館の案内	2022年春・秋号	無料
広報誌	広報千代田	紹介記事	昭和館（特別企画展等）	通年	無料
広報誌	ちよだ生涯学習ガイドブック	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
広報誌	千代田区ミュージアム&シアターマップ	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
広報誌	歩く地図 東京散歩2022	紹介記事	昭和館の案内	2022年	無料
広報誌	東京観光バリアフリーガイド	紹介記事	昭和館の案内	2022年	無料
広報誌	博物館研究	紹介記事	昭和館（春の特別企画展）	通年	無料
広報誌	アキメク！千代田	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
広報誌	道具学会	紹介記事	昭和館（写真展）	77号	無料
広報誌	嵐会報99号	紹介記事	昭和館の案内	99号	無料
雑誌	地球の歩き方	紹介記事	昭和館の案内	2022年	無料
新聞	産経新聞	紹介記事	昭和館（夏の特別企画展）	7月22日	無料
新聞	読売新聞	紹介記事	昭和館（夏の特別企画展）	7月22日	無料
新聞	東京新聞	紹介記事	昭和館（夏の特別企画展）	7月31日	無料
新聞	毎日新聞	紹介記事	昭和館（夏の特別企画展）	8月5日	無料
新聞	教育家庭新聞	紹介記事	昭和館（夏の特別企画展）	8月15日	無料
新聞	東京新聞	紹介記事	昭和館（夏の特別企画展）	8月17日	無料
新聞	読売新聞	紹介記事	昭和館（夏の特別企画展）	8月18日	無料
新聞	朝日新聞	紹介記事	昭和館（夏の特別企画展）	8月31日	無料
新聞	東京新聞	紹介記事	昭和館（写真展）	10月5日	無料
新聞	東京新聞	紹介記事	昭和館（神奈川県巡回展）	11月21日	無料
新聞	沖縄タイムズ	紹介記事	昭和館（沖縄県巡回展）	11月21日	無料
公共交通	J R 東日本飯田橋駅	電飾掲示板	昭和館の案内	通年	有料
公共交通	都営地下鉄新宿線（出口4）	車内広告	昭和館の案内	通年	有料
公共交通	東京メトロ半蔵門線九段下駅（3番ホーム）	電飾掲示板	昭和館の案内	通年	有料
公共交通	東京メトロ東西線九段下駅（2番ホーム）	電飾掲示板	昭和館の案内	通年	有料
郵便局	九段郵便局	イベント広告	昭和館の案内（特別企画展等）	通年	有料
教育新聞	日本教育新聞	イベント広告	昭和館 ポスターコンクール・作文コンクール	10月24日	有料
教育新聞	日本教育新聞	イベント広告	昭和館の案内	11月7日	有料
新聞広告	読売新聞	イベント広告	昭和館（夏の特別企画展）	7月15日	有料
新聞広告	産経新聞	イベント広告	昭和館（夏の特別企画展）	7月23日	有料
新聞広告	東京新聞	イベント広告	昭和館（夏の特別企画展）	7月24日	有料
新聞広告	デイリースポーツ	イベント広告	昭和館（夏の特別企画展）	8月1日～8月8日	有料
新聞広告	東京新聞	イベント広告	昭和館（夏の特別企画展）	8月23日～8月28日	有料
新聞広告	毎日新聞	イベント広告	昭和館（写真展）	9月28日	有料
新聞広告	産経新聞	イベント広告	昭和館（写真展）	9月29日	有料
新聞広告	埼玉新聞	イベント広告	昭和館（写真展）	10月13日	有料
新聞広告	東京新聞	イベント広告	昭和館（写真展）	10月20日	有料
新聞広告	旅行読売	イベント広告	昭和館の案内	10月28日	有料
新聞広告	デイリースポーツ	イベント広告	昭和館（写真展）	11月1日～11月9日	有料
新聞広告	産経新聞	イベント広告	昭和館（写真展）	11月26日	有料

(5) 昭和館ホームページ

常設展示室の展示替えをはじめ、特別企画展や巡回特別企画展、写真展や資料公開コーナーの展示案内、紙芝居の上演会やオーラルヒストリー特別上映会といった催し物の案内に加えて、語り部育成事業についても、定期講話会や語り部派遣など最新の情報発信のため、月2～5回の内容更新を行った。ホームページの全面リニューアルを行い、コンテンツ構成を整理しての再設計やデザインや導線の見直し、更新作業の内製化にも対応できるようにした。

今年度のアクセス件数は、令和5年1月末現在で298,893件(1日平均976.7件)、子ども向け「昭和館キッズナビ」のアクセス数は、8,055件(1日平均26.3件)であった。

(6) SNS

ツイッターやフェイスブック、YouTube等のSNSにおいても、イベントの開催案内やニュースシアターの上映作品、図書室の資料紹介等を発信した。

令和5年1月31日(月)現在のアクセス数等は、以下のとおりである。

Twitter登録者数	フェイスブック閲覧者数	YouTube視聴回数
1,905 (1,761)	10,980 (13,677)	252,822 (1,874,562)

()カッコ内は昨年同時期の実績

3 来館促進対策

(1) 常設展示室の入場無料等について

「昭和の日」令和4年4月29日(金)及び「戦没者を追悼し平和を祈念する日」令和4年8月15日(月)に入場無料を実施した。

(2) 第21回 昭和館見学作文コンクール【資料3】

新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受けて、来館する小・中学校団体が減少したため、令和2年度から募集対象の範囲を広げ、昭和館、巡回特別企画展を見学した小・中学生に加えて、「次世代の語り部」講話を聴いた小・中学生、昭和館YouTubeでオーラルヒストリー(証言映像)を視聴した小・中学生も対象として実施した。

今年度は、令和5年1月15日(日)消印有効で締め切り、8校、1園139作品の応募があった。内訳は、3校の小学生(6年)、個人5名(小4・小6・中2・中3)、応募対象外となるが幼稚園生(年長)1名。

2月中に厚生労働大臣賞・昭和館館長賞などの各賞を選定し、3月上旬に賞状及び賞品の送付を行った。3月下旬にホームページで各賞を発表する予定。

(3) 第15回 昭和館中学生・高校生ポスターコンクール【資料4】

ああなたが感じた戦中・戦後の昭和の暮らしを中学生・高校生の手作りポスターによって多くの人々に伝えることを目的にポスターコンクールを実施した。

令和5年1月13日(金)消印有効で締め切り、16校109作品の応募があった。

令和5年2月中に最優秀賞、優秀賞などの各賞を選定し、3月上旬に賞状及び賞品の送付を行った。4月上旬にホームページで各賞を発表する予定。

(4) 教員のための博物館体験

学校と博物館の連携を図ることを目的に、学芸員による展示趣旨・方法の解説、収蔵庫などのバックヤード見学等を、小中高校の教員を対象として、例年は7月及び8月の夏休み期間に実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のために中止した。

(5) 貸出キットの貸出状況

実物資料、グラフィックパネル、証言映像DVDの貸出キットについて、広報用チラシの配布を行い、来館者及び巡回特別企画展来場者へ周知を図った。

なお、令和4年度の貸出状況は以下の通りである。

(単位:件)

都道府県	小学校	中学校	地方公共団体	その他	合計
東京都	1	1	3	1	6
神奈川県	1		2	2	5
千葉県	1		2	1	4
埼玉県		1	3		4
静岡県				1	1
富山県				1	1
岐阜県	1				1
島根県	1				1
佐賀県				1	1
合計	5	2	10	7	24

(6) 紙芝居定期上演会

昭和館所蔵の紙芝居を使い、紙芝居師が実演する上演会を奇数月第4土曜日に実施している。

11月は巡回展期間と重なるため、例外として第2土曜日に開催した。

上演日	入場者	演目
令和4年 5月28日(土)	37人	「ハリケンピーちゃん」「声ひとすじ」
令和4年 7月23日(土)	69人	「ハリケンピーちゃん」「声ひとすじ」
令和4年 9月24日(土)	42人	「ハリケンピーちゃん」「声ひとすじ」
令和4年 11月12日(土)	52人	「ハリケンピーちゃん」「声ひとすじ」
令和5年 1月28日(土)	79人	「ハリケンピーちゃん」「吾一つづりかた」

今後の予定

上演日	演目
令和5年 3月25日(土)	「ハリケンピーちゃん」「吾一つづりかた」

(7) こども電ケ関見学デー

令和4年8月3日(水)～8月4日(木)にオンラインにて開催されることとなり、昭和館のホームページ「キッズナビ」へリンクすることで参加協力した。

4 展示事業

(1) 常設展示

長期展示による資料の劣化を避け、より多くの方々の寄贈資料を紹介するため、常設展示室を休室して資料の入替と清掃作業を行った。

令和4年6月27日(月)から6月29日(水)までの3日間、常設展示室を休室し資料交換作業を実施した。

令和5年1月5日(木)から1月16日(月)までの12日間、常設展示室を休室し第11回常設展示室展示替え、および資料交換作業を実施した。経年劣化により不具合を起こしていた7・6階ウォールケースの照明改修工事をおこなった。

(2) 特別企画展

「SF・冒険・レトロフューチャー×リメイク～挿絵画家 椋島勝一と小松崎茂の世界～」

開催期間

令和4年3月12日(土)～5月8日(日)

特別協力

株式会社講談社 株式会社タミヤ

後援

千代田区、千代田区教育委員会

内 容

雑誌『少年倶楽部』を中心に活躍し、「ペン画の神様」と呼ばれた挿絵画家・椋島勝一。その椋島が描く秀麗な挿絵に憧れて挿絵画家を志し、のちに空想科学(SF)挿絵画家として大成した小松崎茂。この2人の挿絵画家に焦点をあて、彼等の画業を通じながら戦中・戦後の少年文化とその移り変わりを紹介した。

入場者数

10,895人(218人/1日)(内、令和3年度の入場者数は3,026人)

「お菓子の記憶 ～甘くて苦い思い出たち～」

「九段会館がみた昭和」

開催期間

令和4年7月16日(土)～9月4日(日)

後援

千代田区、千代田区教育委員会

内 容

・「お菓子の記憶 ～甘くて苦い思い出たち～」

戦前から戦中・戦後のめまぐるしく変化する昭和の時代において、お菓子とその一番のパートナーである子どもたちがどのような道筋を辿ったのかを紹介した。

・「九段会館がみた昭和」

昭和館に隣接する九段会館は、設立当時は「軍人会館」と呼ばれ、激動の昭和史に大きく関わった。戦後は日本遺族会による運営のもと、結婚式場、宿泊、ホールとして、多くの方々に利用され、帝冠様式の威風堂々とした九段会館の姿は、九段下の象徴的な景観として長く親しまれている。

昭和の激動を見つめ続けた九段会館の歴史を紹介した。

入場者数

10,793人(240人/1日)

「時代をまとう女性たち」【資料5】

開催期間

令和5年3月11日(土)～5月7日(日)

後援

千代田区、千代田区教育委員会

内 容

「ファッションは時代を映す鏡」という表現があるように、服装は時代の移り変わりと密接な関係にある。昭和の激しい社会変化も例外なく、和装から洋装へ、家庭裁縫から既製服へ、特に女性の服装に大きな影響を与えた。

本展覧会では、昭和の世相とともに移り変わっていった女性の服装について紹介する。

(3) 巡回特別企画展

昭和館・しょうけい館・平和祈念展示資料館 3館連携企画展

開催期間

令和4年11月18日(金)～11月26日(土)

会場

横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室1・2
(神奈川県横浜市青葉区あざみ野南1-17-3)

主催

昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館

協賛・後援等

- ・協 賛 一般財団法人神奈川県遺族会および日本遺族会第2ブロック
- ・後 援 神奈川県 神奈川県教育委員会 横浜市 横浜市教育委員会、神奈川新聞社

内容

戦後生まれの世代が大多数を占める今、戦中・戦後の労苦について国民への理解を深め、次の世代へ語り継ぐため、東京の3つの国立の施設が合同で展示をおこなった。

昭和館は、戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世代に伝えるため、神奈川県ゆかりの実物資料・写真資料・映像資料等を通じて、困難が多かった時代における人々の暮らしを紹介した。

入場者数

943人(約105人/1日)

「くらしにみる昭和の時代 沖縄展」

開催期間

令和4年11月30日(水)～12月10日(土)

*12月5日(月)は休館日

会場

那覇市民ギャラリー 第1～3展示室
(沖縄県那覇市久茂地1-1-1 パレットくもじ6階)

主催

昭和館

協力・後援等

- ・協 力 一般財団法人沖縄県遺族連合会および日本遺族会第5ブロック
- ・後 援 沖縄県 沖縄県教育委員会 那覇市 那覇市教育委員会 那覇市民ギャラリー
沖縄タイムス社 琉球新報社 毎日新聞那覇支局 読売新聞那覇支局 琉球放送
沖縄テレビ放送 NHK 沖縄放送局 琉球朝日放送 沖縄ケーブルネットワーク
ラジオ沖縄 エフエム沖縄

内容

戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世代に伝えるため、沖縄県ゆかりの実物資料・写真資料等を通じて、困難が多かった時代における人々の暮らしを紹介した。

入場者数

2,152人(約215人/1日)

(4) 写真展の開催(2階ひろば)

「うつりゆく昭和の九段下界限」

開催期間

令和4年3月19日(土)～5月8日(日)

内 容

古くから桜並木や内濠のほitoriなど四季折々の風景を楽しむことのできる景勝地・行楽地として知られていた九段下とその周辺の様子の変り変わりを所蔵写真で紹介した。

入場者数

11,756人(267人/1日)(内、令和3年度の入場者数は3,986人)

「乗り物のある風景 - 昭和の暮らしと交通事情 - 」

開催期間

令和4年9月10日(土)～12月18日(日)

内 容

明治5年(1872)に新橋 - 横浜間で鉄道が開業してから150年の節目にあたり、昭和に活躍した乗り物を通じて、当時の世相や交通事情などを紹介した。

入場者数

13,051人(152人/1日)

「子どもたちの戦中・戦後」【資料6】

開催期間

令和5年3月18日(土)～5月7日(日)

内 容

戦争によって人々の生活は大きな影響を受け、子どもたちの暮らしも例外ではなかった。学校生活や遊びなどについて時代によって変化する子どもたちの暮らしを所蔵写真で紹介する。

詳細につきましては、令和5年度事業計画(資料2)にてご説明させていただきます。

5 資料収集

(1) 実物資料の収集

令和4年度は収蔵庫の整理を優先し、資料収集については最小限にとどめているが、資料補修等は従来通り進める。

令和5年1月末日における実物資料点数は、以下の通りである。

	令和4年度収集	累 計
寄贈資料	寄贈 1 1 点 除籍 6 4 点	4 6 , 2 7 3 点
購入資料	0 点	1 4 , 6 4 6 点
厚生労働省資料	0 点	3 , 2 4 3 点
寄託資料	返還 4 8 5 点	0 点
計	5 3 8 点	6 4 , 1 6 2 点

寄贈資料の除籍は、昭和館での展示の機会がない明治期の艦船の絵画について、寄贈者と相談の上、呉市の大和ミュージアムに移管したものの。

寄託資料の返還は、寄託者からの希望により返還したものの。

(2) 図書資料の収集

令和4年度は、写真集や手記、部隊史などに重点を置いて収集に努め、巡回特別企画展の開催地及び開催予定地、未開催地関連の資料の充実をはかるとともに、閲覧希望が多い少年少女向け雑誌・婦人雑誌等の欠号補充、児童書や学習漫画の購入を行った。

令和5年1月末日における図書・雑誌資料の収集は以下の通りである。

	令和4年度収集	累 計
国民生活関係図書	1 , 1 6 9 冊 (4 3 1 冊寄贈)	7 0 , 1 4 8 冊
戦争に関する基本図書	3 5 4 冊 (1 3 7 冊寄贈)	2 3 , 2 9 5 冊
独自資料	0 冊	3 5 , 9 8 0 冊
その他基本図書	0 冊 (0 冊寄贈)	1 1 , 6 8 6 冊
計	1 , 5 2 3 冊 (5 6 8 冊寄贈)	1 4 1 , 1 0 9 冊

(3) 写真資料の収集

令和4年度はダッコちゃん人形で遊ぶ写真の他、四日市大博覧会（昭和11年開催）や名古屋汎太平洋平和博覧会（昭和12年開催）などの絵葉書の寄贈を受け入れた。

(4) オーラルヒストリーの制作

戦中・戦後の国民生活上の 労苦を伝える事業の一環として、平成16年度から体験者の証言を映像記録として残す事業を進めている。

今年度は東京・神奈川・埼玉在住7名と、特別編として元アナウンサー、放送局経営者川平朝清氏の聞き取り調査および収録を行った。

6 戦中・戦後の労苦を伝える語り部育成・活動事業

(1) 語り部育成事業

戦中・戦後の労苦を体験した者が高齢化する中、当時のことを語り継いでいくことが難しくなっていることから、平成28年度より、国民が体験した戦中・戦後のくらしの上での様々な労

苦を後世に語り継いでいく、次世代の伝承者である「語り部」を育成する事業を開始し、令和3年度に3期生までの育成を終了した。

事業の実施状況

- ア 平成28年度に第1期生の募集を行い、11名が研修に参加、全36回の研修を終え、令和元年9月に9名が修了した。
- イ 平成29年度に第2期生の募集を行い、8名が参加（内1名が3期生に編入し、令和3年2月時点では7名）した。令和2年度の研修は、新型コロナウイルス感染防止に伴い3月～6月の研修を中止とし、修了時期を延長して振替研修を実施することとした。令和3年3月に6名が修了した。
- ウ 平成30年度に第3期生の募集を行い、9名が参加（内3名が辞退、他1名が2期生から編入し、令和4年2月時点では7名）した。今年度の研修は、新型コロナウイルス感染防止に伴い3月～6月の研修を中止とし、修了時期を延長して振替実習を実施することとした。令和4年2月に修了。
- エ 研修内容
 - 1～2年目：語り部としての基礎知識研修、「家族の別れ」等のテーマ別研修、体験談の聴講・体験者との交流等
 - 2～3年目：語り部実演・発表によるスキルアップ、講話原稿作成等

（2）語り部活動事業

3年間の語り部研修を通して一定の回数、研修に参加し、講話原稿を提出した研修生には修了証を授与する。提出された原稿を昭和館、厚生労働省、審査委員会による審査の後、「次世代の語り部」として定期講話会（各偶数月第1日曜日）及び講話派遣活動を委嘱する。

事業の実施状況

- ア 第1期生は、令和元年9月に9名が修了し、12月に7名に対して委嘱を行った。12月にホームページで情報を公開した。令和元年12月から偶数月の第1日曜日に定期講話会を開催し、学校等で「次世代の語り部」派遣講話を行った。実施状況（令和4年2月時点）は以下のとおり。
- イ 第2期生は 令和3年3月に6名が修了し、6月に6名に対して委嘱を行った。活動を開始した4名の語り部についてはホームページで情報を公開し、10月の定期講話会から順次講話を行った。
- ウ 第3期生は 令和4年9月に7名が修了し、9月に7名に対して委嘱を行った。活動を開始した4名の語り部についてはホームページで情報を公開し、9月の定期講話会から順次講話を行った。

講話派遣の実施状況は以下のとおりである。

派遣先	派遣件数	参加者数
学校関係	6	749
自治体関係	5	47
その他	5	100
合計	16	896

7 情報検索システムの充実

(1) 図書・雑誌の装備及びデータ入力

収集した図書・雑誌が閲覧できるようにするため、令和4年度は令和3年度に受け入れた図書・雑誌1,129冊及び令和4年度に寄贈を受けた半藤一利氏の旧蔵書の1,600冊の装備と書誌及び目次データの入力を行った。

(2) 映像データの公開

令和3年度に購入した子ども向けのニュース映画「コドモニュース」5本を映像・音響室で公開した。

また、継続して購入している「日本ニュース」は、昭和15年～26年までに594本が作成されているうち、昭和館では現在までに昭和15年～26年までの540本を入手しており、整理を終えた42本を公開した。

映像・音響室の入口にある大型モニターでは、様々なテーマを設けて映像を紹介しており、新公開の映像や「沖縄復帰50周年」、写真展「乗り物のある風景 - 昭和の暮らしと交通事情 - 」等に関連した映像を紹介した。

米国国立公文書館から入手した映像やオーラルヒストリーは昭和館YouTubeチャンネルで順次公開している。米国国立公文書館映像は61本を公開し、内2本の映像は視聴回数が65万を超えている。オーラルヒストリーの公開作品数は138本である。

(3) 写真の公開

平成28年に寄贈された吉川虎雄氏所蔵の昭和30年代の日本各地の空撮写真等1,516点を公開した。

令和3年に購入した鈴木路雄氏撮影の昭和30年頃の茨城県古河市の写真55点を公開した。

令和元年に寄贈された師岡宏次撮影写真のネガコレクションの整理を進め、公開に向けて順次データ化を進めている。

(4) デジタルアーカイブの構築

昭和館が所蔵する写真、映像、実物資料等の情報をインターネット上で外部公開するためのアーカイブを構築した。「昭和館資料デジタルアーカイブ」の名称で令和5年4月1日からの公開を予定。

8 資料公開等

(1) 昭和館懐かしのニュースシアター

ニュースシアター会場においてニュース映画を178作品（令和5年1月31日現在）を毎日上映した。

ニュースシアターでは、前年度に制作したオーラルヒストリーをニュース映画に続けて上映していたが、初めての来場者が興味を抱くように認知度の高い話者（大村崑氏、半藤一利氏）の作品を積極的に紹介し、来館者促進を図った。

平和祈念展示資料館が令和5年2月8日（水）から14日（火）に九段生涯学習館で開催する特別展示「軍人たちの描いた大陸スケッチ」の連携企画として、2月4日から17日（金）の2週間、大陸の様子を伝えるニュース映像を紹介し、館外との連携を図っている。

例年実施していた「昭和の日」や「こどもの日」の特別上映会等のイベントについては、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

(2) 映像資料等の提供状況

令和5年1月末日における映像資料等の提供データは以下の通りである。

	データ件数
写真資料	32,670件
映像資料	3,534件
音響資料	14,319件
計	50,523件

(3) 資料公開コーナーの運用

図書情報部では、4階図書室及び5階映像・音響室の利用促進と、収蔵資料にさらに多くの方に関心をもって見ていただくことを目的に、平成19年より1階ロビーにおいて資料公開コーナーを設けている。

令和4年度に実施した内容は以下のとおりである。

実施回	タイトル	期間
第84回	第14回中学生・高校生ポスターコンクール 入賞作品展示	令和4年4月5日(火) ～6月26日(日)
第85回	S Pレコード	令和4年6月28日(火) ～9月25日(日)
第86回	昭和の日常 昭和30～32年 ～鈴木路雄 がみつめた茨城県古河～	令和4年9月27日(火) ～12月27日(火)
第87回	図書・雑誌に見る空襲への備え	令和5年1月5日(木) ～4月2日(日)

(4) その他

来館者への利用促進として、図書室では様々なテーマを設けて図書を紹介しているが、令和4年度は「戦時下の医療従事者」「地震・台風・水害...～自然災害の記録～」「沖縄復帰50周年 沖縄の戦中・占領下」等をテーマに関連した資料を紹介した。

継続企画としては、「あなたの出身地は？ 昭和館で見られる47都道府県の資料」と題し、2か月ごとに各都道府県の関連資料の紹介をしている。

また、資料公開コーナーや、平和祈念展示資料館が令和5年2月8日(水)から14日(火)に九段生涯学習館において開催する特別展示「軍人たちの描いた大陸スケッチ」に関連する資料紹介を行う等、館内外との協力、連携をはかった。

加えて、夏休み中の小・中学生の利用促進を目的として、令和4年7月16日(土)～9月4日(日)にはワークシートや図書リスト等を配置した。ワークシートは「学童疎開」や「空襲」、特別企画展に関連した「子どもたちとお菓子」等6種類を配布し、約960枚の利用があった。

9 関係施設との連携

(1) 関係施設等連携会議の開催

関係施設等連携会議(昭和館事務局)を開催するとともに、しょうけい館、平和祈念展示資

料館との3館の連携に取り組んだ。

関係機関：厚生労働省社会・援護局援護企画課、
総務省大臣官房総務課管理室、平和祈念展示資料館、
しょうけい館、昭和館

第22回会議を令和4年7月8日（金）に開催

第23回会議を令和5年2月3日（金）に開催

（2）「夏休み3館めぐりスタンプラリー」

令和4年7月16日（土）～9月4日（日）

共催 平和祈念展示資料館、しょうけい館

参加者 4,883人

（3）特別展示「軍人たちの描いた大陸スケッチ展」を開催

令和5年2月8日（水）～2月14日（火）

主催 平和祈念展示資料館

協力 昭和館、しょうけい館

場所 九段生涯学習館 2階 九段ギャラリー

（4）巡回特別企画展の相互協力

神奈川県において昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館3館連携委企画展を実施した。

令和4年11月18日（金）～11月26日（土）

沖縄県における巡回企画展では、しょうけい館と平和祈念展示資料館についてポスターを掲示する等の周知を図った。

令和4年11月30日（水）～12月10日（土）

10 昭和館運営専門委員会の開催

昭和館運営事業について有識者から様々な意見を聴取するため、以下のとおり、昭和館主催の昭和館運営専門委員会を開催した。

第1回運営専門委員会開催

令和4年7月6日（水）に開催

第2回運営専門委員会開催

令和5年2月15日（水）に開催

11 アンケート結果 （令和4年4月1日～令和4年12月27日現在）

昭和館のアンケート調査は、平成11年7月から実施し、広報活動、各種企画展、常設展示室の改善の他、顧客満足度アップのため実施している。1階 ニュースシアター、4階 図書室、5階 映像・音響室、6階 常設展示室においてアンケートを設置している。

昭和館について（特別企画展含・紙芝居除く）

回収枚数 4,597枚（特別企画展 3,344枚）

アンケート概要

昭和館をどのようにして知ったか（複数回答・特別企画展含）

通りかかって	当館HP SNS	友人・知人	新聞・テレビ ・ラジオ	駅看板	昭和館だより (DM含む)	その他
28.6%	14.6%	11.8%	6.2%	5.2%	4.5%	29.1%

利用回数（常設展示室のみ）

1回	2回	3回	4回以上	未回答
85.6%	10.6%	2%	1.7%	0.1%

展示内容（常設展示室のみ）

良い	普通	わかりにくい	未回答
89.4%	9.9%	0.4%	0.3%

性別（特別企画展含む）

男性	女性	未回答
55.4%	43.6%	1%

年齢別（特別企画展含む）

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答
13.4%	10.1%	8.1%	16.5%	26.8%	14.3%	6.8%	2.5%	1.5%

住所（常設展示室・特別企画展のみ）

東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	その他	未回答
58.9%	11.6%	7.6%	8%	10.8%	3.1%

展示を見て「戦中・戦後」の理解が深まったか（常設展示室のみ）

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった	未回答
53.5%	44.3%	1.6%	0.3%	0.3%

春の特別企画展（SF・冒険・レトロフューチャー×リメイク）について

回収枚数 2,041枚

アンケート概要

利用回数

1回	2回	3回	4回以上	未回答
73.8%	9.6%	3.9%	11.9%	0.8%

○展示内容について

大変良い	良い	普通	つまらない	未回答
65.2%	30.8%	3.1%	0.1%	0.8%

「戦中・戦後の暮らし」の理解が深まったか

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった	未回答
32.4%	61.4%	4.8%	0.3%	1.1%

展示品の数について

多い	丁度良い	少ない	未回答
5.6%	79%	14.5%	0.9%

【主な意見（春の特別企画展）】

- ・印刷技術や保存の素晴らしさに感銘。精密な下絵にも驚かされた。写真と見間違ふようだ。
（ 70代・女性）
- ・ペン画の凄さ、空想力溢れる画に驚いた。現代の子供たちが読んでもワクワクするものばかりの展示で、とても魅力ある作品群だった。学芸員が苦労した展示をたくさんの人に知って欲しいと思った。
（ 60代・男性）
- ・2020年開催予定がコロナで中止になってしまい図録でしか見るができなかったので今回開催してもらえて良かった。（ 60代・男性）
- ・小学生の頃に復刻版で「敵中横断三百里」を読んだ。その際に挿絵の精密さに感動したのが今日の来場にも大きく影響している。小松崎茂のボックスアート（当時は箱絵と呼んでいた）を飾っていたが、その原画を目にすることができ、心から嬉しく思う。この感想を書くまでは心の中が6歳の頃に戻っているのに気づき、本展示が心の栄養になっていることを実感した。（ 60代・男性）
- ・椋島先生は知らなかったなので勉強になった。原画はやはり良いなと思った。子供向けなのに非常にしっかり描かれていた。（ 50代・男性）
- ・現代を予言するかのごとく小松崎先生の作品に驚きと感動を得た。原画を拝見できて嬉しかった。色彩の美しさと繊細な描写にのめりこむほど見入った。（ 50代・女性）
- ・素晴らしい展示だった。将来「令和館」を作るとなった場合、我々は何を残すことができるのか考えさせられた。（ 50代・男性）
- ・たまたま千代田区の掲示板で見かけて知ったが、それ以外での広告を見たことが見た事がない。せっかく充実した展示（しかも無料）がもったいないので、もっと広報したほうが良いと思う。
（ 50代・女性）
- ・前はコロナで未開催だったので図録だけ買った。今回改めて開催されると知り大阪からかけつけた。見ごたえがありとても嬉しかった。もう少し展示数があればさらに良かった。開催してくれてありがとう。（ 50代・女性）
- ・2年前から楽しみにしていたので今回開催になり非常に満足している。小松崎先生はタミヤの箱絵で昔から馴染みがあったが、椋島先生の繊細なタッチを今日初めて見てとても印象的だった。
（ 40代・男性）
- ・このような挑戦的な特別企画展は昭和史に関する新たな気づきになった。展示内容のみならずシャープかつ明瞭な展示スペースも社会的な歴史展ではなく美術展をこえアート展のようで良かった。コロナ禍で開催される予定が中止となり再構成したという事で展示数や内容が多いとは言えないが、今後このようなテーマで開催して欲しいと思った。（ 40代・男性）
- ・昨年楽しみにしていた企画展が無事に復活して大変良かった。美しいカラー原画に感動した。特にSF全集は今では見られない程すてきな装丁だと思った。（ 40代・女性）
- ・絵の素晴らしさに感動した。解説も程よく、当時の子供たちを想像しながら展示を見る事ができてとても楽しめた。無料なのが信じられない。（ 30代・男性）
- ・図書室と併せて楽しめた。SF好きで来たが、戦後の子供たちに夢を与えていたと知り、より魅力を感じた。（ 30代・女性）
- ・少年雑誌の挿絵が好きで今回来館した。小松崎茂の作品は本で拝見した事はあるが原画は初めて見た。とても細かく迫力があり実施の本の表紙と原画を見比べる事ができ、とても良かった。

椋島勝一の作品は初めて見たが、かなりリアルでとても気に入ったので自分でもいろいろ調べてみようと思った。こんなにボリュームがある展示が無料なんてビックリ。来て良かった。

(30代・女性)

・作品だけでなく時代背景との関連性や制作段階でどのような修正が入ったのか等の制作に関連した事も知る事ができて良かった。(30代・女性)

・アプリで見かけてなんとなく来場したが挿絵や原画に魅了された。古い雑誌で見る挿絵とビックリするほど精密な原画では違った趣があることも印象的だった。すてきな企画展をありがとう。

(20代・女性)

・もともと昭和レトロに興味はあったが、この企画展を見てさらに好きになった。小松崎茂を知らなかったがファンになった。(20代・女性)

・戦記的SFや模型パッケージの表画に焦点を当てた企画展は大変おもしろい。日本的な要素を多分に含む構想やデザインはブームを今一度起こす可能性すら感じた。(大学生・男性)

・あんなにも色鮮やかに細やかに描かれている絵をしっかりと見たのは初めて。絵の中の空の青さに圧倒された。自分が知らない世界の扉をまたひとつ開くことができたと感じる。「私の考えている素晴らしい事が未来では当たり前のように実現されているかもしれない」と希望にあふれる作品がたくさんあり楽しかった。(高校生・女性)

・挿絵がすごくきれいでずっと眺めていたかった。今はこんな風に地道にコツコツと作品を作り上げる人は少ないと思う。もっと頑張ろうと思った。(中学生・女性)

・昭和館を今まで知らなかった。コストはかかるがもう少し広報すればもっと集客できるのではないかなと思った。(複数意見)

夏の特別企画展(九段会館が見た昭和、お菓子の記憶)について

回収枚数 1,303 枚

アンケート概要

利用回数

1回	2回	3回	4回以上	未回答
67.3%	10.4%	5.3%	16.6%	0.4%

○展示内容について

大変良い	良い	普通	つまらない	未回答
52.4%	32.9%	7%	0.4%	7.3%

「戦中・戦後の暮らし」の理解が深まったか

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった	未回答
36.3%	52.4%	6.1%	0.4%	4.8%

展示品の数について

多い	丁度良い	少ない	未回答
7%	65.6%	19.5%	7.9%

【主な意見(夏の特別企画展)】

・とにかく面白い企画展。戦時中、甘い物が不足していて誰もが困っていた事がわかった。クイズラリーは子供が楽しんでできる参加型イベントでとても良かった。(60代・男性)

- ・「キャラメルを母上に」という手紙、絵がかわいらしくてユーモアがあってとても親しみを感じた。甘いものが食べたいという人々の想いが伝わってくる良い企画展だった。(50代・女性)
- ・昔のお菓子のパッケージが好きで見に来たが、この展示を見て戦争は本当にやってはいけない事だとつくづく思った。もっと展示が見たくなるくらい面白く興味深かった。(40代・女性)
- ・お菓子と子供の視点から見た戦前から戦後について学べる展示内容で素晴らしかった。特におまけについていた紙のガスマスクが印象に残った。いかに戦争のない時代に生きる私達は幸せなのかを実感した。二度と戦争は起きて欲しくない。(40代・女性)
- ・「ギブミーチョコレート」がハーシーズだったのは新鮮な驚きだった。おまけの玩具がとても可愛らしく、今でも欲しいくらいだ。(40代・男性)
- ・今まで意識した事がなく食べていたお菓子について戦争とここまで深い関わりがあると知らずタメになった。戦争・お菓子を新しい視点で考える良い機会となった。九段会館はこれまでその存在を意識した事がなかったが、様々な歴史を経て新たにオープンする際にはぜひ来場したいと思った。(20代・女性)
- ・お菓子という身近な存在を通じ昭和の空気を感じられてとても楽しかった。レトロなかわいらしいお菓子の模型・パッケージなど目でも楽しむ事ができた。(10代・女性)
- ・万人に親しみのあるお菓子という切り口で戦争や食料課題へのメッセージが届いていて良かった。デザイン、Artの変化にも興味を持てた。(大学生・女性)
- ・一つ一つ丁寧な説明があり分かりやすかった。(大学生・女性)
- ・今では当たり前のようにあるお菓子が戦争によって簡単にぜいたく品になってしまった事がとても怖かった。コンビニやスーパーに行けば当たり前にお菓子があるがいつか無くなってしまうのではないかと思った。ロシア・ウクライナ戦争、中東アジア、アフリカでは毎日のように紛争が絶えない。そこに住んでいる子供たちは80年前の日本と同じような状況にあると思うと人間は歴史から何も学んでいないのだと痛感した。もっと平和な世の中になる事を願う。(高校生・女性)
- ・お菓子がいかに戦時中貴重だったのかが良くわかった。展示品の中で「子どもにとって菓子の配給がなくなるのは、金魚に水がなくなるのと同じことだ」という文言がとても印象的だった。(複数意見)
- ・九段会館の展示はリニューアル前の時期に合っていて良かった。内容も分かりやすく展示資料も質の高いものだったが、負の面ももっと伝えて欲しかった。(60代・男性)
- ・2023年に九段会館テラスで結婚式をするので、少しでも九段会館について知りたいと思い来場。歴史ある建物だという事がわかりボリュームも多すぎず見やすかった。個人的には帝冠様式の素晴らしい建物なので建物自体の魅力についてもっと知りたかった。(20代・女性)
- ・九段会館が、軍人会館 戒厳司令部 アーミーホール 九段会館となり、今度は九段会館テラスになると知り昭和を見てきた建物が時代と共に変化してきた事は驚きだった。(大学生・男性)
- ・九段会館がどのような施設か気になっていたのも、その歴史・役割を詳しく知れて非常に良かった。(大学生・女性)
- ・九段会館の歴史を端的に知ることができて良かった。東日本大震災後の行方が気になっていたのも歴史とともに知る事ができて良かった。(複数意見)

アンケート概要

利用回数

1回	2回	3回	4回以上	未回答
85.6%	10.6%	2%	1.7%	0.1%

○展示内容について

良い	普通	わかりにくい	未回答
89.4%	9.9%	0.4%	0.3%

「戦中・戦後の暮らし」の理解が深まったか

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった	未回答
53.5%	44.3%	1.6%	0.3%	0.3%

展示アプリガイドについて

わかりやすい	普通	わかりにくい	未回答（未使用含む）
38.9%	19.4%	1.2%	40.5%

【主な意見】

- ・戦争体験者にとっては好企画。改めて平和のありがたさと誓いを心に刻んだ時を過ごす事ができた。（80代・男性）
- ・子供に「防空壕」「軍服着用」体験をさせたかったが、コロナで展示内容に変更があって残念。（50代・女性）
- ・資料や玉音放送など読みやすく書いてあったのが良かった。（50代・女性）
- ・コロナ対策として仕方ないと思うが、防空壕体験など一部体験できないものがあったのが残念。さまざまな展示、勉強になった。また来ます。（30代・女性）
- ・授業で戦争について勉強しているので分かりやすかった。平和な世の中になる事を祈っている。（中学生・女性）

ニュースシアターについて（複数回答） 回収枚数 39 枚

アンケート概要

利用回数

1回	2回	3回	4回以上
48.7%	5.1%	0%	46.2%

上映時間

普通	長い	短い	未回答
76.9%	20.5%	2.6%	0%

上映本数

普通	多い	少ない	未回答
76.9%	2.6%	2.6%	17.9%

上映希望年代（複数回答）

昭和10年代	昭和20年代	昭和30年代	未回答
35.2%	27.8%	31.5%	5.5%

上映希望映像（複数回答）

事件	文化	スポーツ	その他	未回答
36.1%	32.8%	11.5%	14.7%	4.9%

【主な意見】

- ・立派で有意義なので今後も続けて欲しい。(70代・男性)
- ・番組表に上演内容がもう少し詳しく表示されると良いのと思った。(50代・女性)
- ・もっと字幕を入れて欲しい。(30代・女性)
- ・画像が少し見づらいので画質を良くして欲しい。(20代・女性)
- ・椅子に高低差があったので見やすかった。(20代・女性)
- ・災害関係のNEWSは現代にも通ずるものがあると思った。(20代・女性)

図書室について(複数回答) 回収枚数 15 枚

アンケート概要

利用回数

1回	2回	3回	4回以上
86.7%	13.3%	0%	0%

主な目的(複数回答)

本・雑誌を読む	レポート・論文	出版等の調査	個人の趣味・研究	その他	未回答
37.6%	0%	0%	50%	6.2%	6.2%

書籍、雑誌の量

適当	少ない
73.3%	26.7%

【主な意見】

- ・自宅PCから閉架図書の検索は使い勝手が不便。(80代・男性)
- ・閉架図書があること自体わからなかった。(複数意見)

音響・映像室について 回収枚数 8 枚

アンケート概要

利用回数

1回	2回	3回	4回以上
62.5%	0%	25%	12.5%

利用した資料(複数回答)

写真	映像	レコード	絵画
33.3%	41.7%	25%	0%

情報検索システム

使いやすい	普通	使いにくい	未回答
50%	25%	12.5%	12.5%

【主な意見】

- ・戦前のラジオ音声や戦後すぐのテレビ映像を見たいと思った。(20代・男性)

紙芝居(全4回)

回収枚数 106 枚

アンケート概要

紙芝居をどのようにして知ったのか

通りかかって	昭和館 HP	友人・知人	その他	未回答
65.6%	10.6%	3.5%	19.4%	0.9%

見学回数

初めて	2回目	3回目	4回目	未回答
84%	4.7%	2.8%	3.8%	4.7%

紙芝居の内容

大変良い	良い	普通	つまらない	未回答
47.1%	28.3%	12.3%	0%	12.3%

性別

男性	女性	未回答
54.7%	44.3%	1%

年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答
8.4%	7.5%	18%	12.3%	23.7%	13.2%	8.5%	0.9%	7.5%

住所

東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	その他
61.3%	10.4%	5.6%	12.3%	10.4%

【主な意見】

- ・子供の頃、実際に小銭を払って紙芝居を見たのを思い出した。まさかこの場所でまた見られるとは思わなかった。家族や友人にも教えたい。(60代・男性)
- ・とても迫力があって面白かった。紙芝居の内容で当時の世相が感じられた。(50代・男性)
- ・紙芝居が原画である事、お菓子を売っていた事を初めて知った。太鼓を叩きながらの口上もとても良かった。(50代・女性)
- ・初めて見たのに懐かしさがこみ上げた。また見たいと思った。(40代・男性)
- ・小学1年生には少し理解しづらいようだったが、初めて見る本物の紙芝居はおもしろかったとの事。大人も良い勉強になった。(40代・女性)
- ・初めて紙芝居を見た。娯楽が少ない当時、紙芝居が子供にとって最高の楽しみだったと思う。迫力があり引き込まれた。(30代・男性)
- ・子供が「いいところで終わっちゃうー」と話を夢中になって聞いていた。音の演出も良かった。(30代・女性)
- ・子供は水あめを食べてみたかったようだ。食べ物も含めて再現できたらいいな。(30代・女性)
- ・初めて昭和館の紙芝居を見た。保育士をしているので口調やペース、雰囲気作り方などたくさん勉強になった。次回は同僚も連れてきたいと思う。(20代・女性)
- ・街頭紙芝居を初めて見た。クイズも面白かった。(10代・女性)
- ・初めて紙芝居を見たが迫力があって夢中になって見る事ができた。(10代・男性)

神奈川県、沖縄展の詳細は25ページに記載

巡回特別企画展について

神奈川県 令和4年11月18日(金)～11月26日(土)

回収枚数 182枚 アンケートはしょうけい館、平和祈念展示資料館と合同

アンケート概要

展示会をどのようにして知ったか

ポスター・チラシ	新聞記事	ネット・SNS	遺族会	学校からの案内	テレビ・ラジオ	その他
24.3%	16.9%	13.2%	5.3%	5.3%	0.5%	34.5%

展示内容について

良い	普通	わかりにくい	未回答
75.8%	20.9%	1.1%	2.2%

性別

男性	女性	未回答
52.2%	47.8%	0%

年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答
3.8%	2.7%	5.5%	12.1%	15.9%	18.1%	25.3%	11%	5.6%

住所

横浜市内	神奈川県	その他	未回答
66.5%	15.9%	17%	0.6%

【主な意見】

- ・生の資料に触れて昔を偲んだ。遺児の証言映像は身につまされた。(80代・男性)
- ・昭和20年代の子供の頃を思い出す。多くの展示を見られて良かった。(80代・男性)
- ・入館者が少なすぎる。戦禍を伝えるならもっと宣伝の努力をすべき。(80代・男性)
- ・戦中戦後の国民の苦しみが良くわかった。特にオーラルヒストリーが良かった。(70代・男性)
- ・今この時期に開催される意味も大きいと思うし、この企画展に気が付き見る事ができて良かった。(70代・女性)
- ・当時の衣類・書類・道具などを見る事ができて良かった。3館にも行ってみたい。(60代・女性)
- ・たまたま通りがかったので気が付いて見る機会を得たが、新聞広告やチラシでもっと市民に知らせて欲しかった。(60代・男性)
- ・戦争の事をもっと若い世代に伝えていく必要があると思った。この悲惨な記憶を後世に伝え、戦争のない世の中を作っていきたいと思う。(60代・女性)
- ・3館連携の企画展はとても良かった。平和のありがたさを改めて思い知らされた。戦争が忘れ去られないよう今後も行われる事を願います。(50代・女性)
- ・昭和も昔の事となり戦時中の苦労を語れる人も少なくなった今貴重な展示。過酷さに胸が詰まった。(50代・女性)
- ・神奈川に特化した資料展は珍しく、住んでいる県なのでより身近に感じた。(40代・女性)
- ・近隣の小中学生が見学に来れば良いのと思うような展示だった。(40代・女性)
- ・展示解説があると理解がより深まると思う。(40代・女性)
- ・暮らしに戦争が入り込んでいく事がよくわかる展示だったと思う。(40代・男性)
- ・3館とも別々に見学に行ったことがあるが、連携企画展は見るのは初めてだったので勉強になった。それぞれ別のブースで展示を行っているが、3館の展示物を時系列に並べた合同展示があると歴史の

- 流れがわかり面白いと思う。機会があればまた見学した。(40代・女性)
- ・写真がたくさんあり当時の様子が理解できた。(30代・女性)
- ・戦争中や終戦直後の写真などがあり、当時のことが鮮明に伺えて感慨深かった。(20代・女性)
- ・他の地域でもぜひ企画展を開催して欲しい。もっとたくさんの人に知ってもらいたいと思った。(20代・女性)
- ・暮らしに使っていた物が実際に見られて理解しやすかった。(小学生・男性)

沖縄展 令和4年11月30日(水)～12月10日(土)

回収枚数 85枚 アンケート概要

展示会をどのようにして知ったか(複数回答)

通りかかって	遺族会	他の博物館	新聞・テレビ・ラジオ	友人・知人	広報誌	その他
18%	16%	11%	10%	8%	5%	32%

展示内容について

良い	普通	わかりにくい	未回答
81.2%	17.6%	0%	1.2%

○昭和のくらしや文化について理解が深まったか

よくわかった	まあまあわかった	わかりにくい	未回答
47%	51.8%	1.2%	0%

○特設コーナー「昭和館ポスターコレクション」について

良い	普通	わかりにくい	未回答
74.1%	23.5%	0%	2.4%

性別

男性	女性	未回答
49.4%	45.9%	4.7%

年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答
3.5%	2.3%	4.7%	12.9%	22.4%	12.9%	27.2%	11.8%	2.3%

住所

那覇市	糸満市	浦添市	沖縄市	宜野湾市	豊見城市	南城市	その他	未回答
40%	1.2%	7.1%	1.2%	3.5%	2.3%	1.2%	40%	3.5%

【主な意見】

- ・沖縄の戦後史が豊富な写真でわかりやすく説明されていた。特設展示のポスター展では戦前から現代につながるグラフィックデザインの流れが理解できた。(80代・男性)
- ・もっと多くの当時の記録写真があると説得力があったと思う。特に終戦直後の30年代に撮影された衣類や食料品等の写真がもう少しあれば良かった。でも懐かしかった。ありがとう。(80代・女性)
- ・今後も続けて開催して欲しい。後世へのメッセージとして重要だと思う。(80代・男性)
- ・書物で知るより写真はもっとリアルでとても勉強になった。このような展示はもっとPRして欲しい。(70代・女性)
- ・復帰前に山里永吉や大城精徳が言った「沖縄の祖国は日本じゃない、琉球国だ」の言葉を思い出す。

(70代・男性)

- ・図録を作って欲しかった。買いたかった。PRをもっとして県民に広く伝えて欲しい。もっと広報して欲しかった。(70代・男性)
- ・千人針とかカラ物資など巡回展を見て初めて知った。アーニー・パイル国際劇場が国際通りの由来だということもわかった。(50代・女性)
- ・沖縄に特化した展示は、九段下の昭和館ではほとんど無かったので参考になった。昭和館では見られなかったポスターなどもあって良かった。(50代・男性)
- ・戦争を知らない子供達に見て欲しい。映像コーナーで体験談を聞けて良かった。(50代・女性)
- ・ポスターはあまり見る機会がないので勉強になった。デザインが興味深く現代でも通用するセンスの作品もあって面白かった。当時の人はポスターに描かれた事を信じて戦争にまい進した。なぜその人達は正しい判断ができなかったのだろうかと責める事はできない。当時、真実に気づいていた人は非国民とされた。現代の自分達にも同じ事が起こっていないのだろうか。みんなが是としている事や国がやれと強制している事が本当に正しいのか考えた方が良かった。(50代・女性)
- ・昭和初年～39年の戦前・中・混乱期と高度成長期前夜までの展示で見ごたえがあった。沖縄の状況はある程度知っていたが、やはり大きな写真になると実感がわく。ポスター展もおもしろかった。大正期から日本は豊かだったのでポスターも洗練されている。日独合同映画で技術の流入があったのも興味深い。当時は軍事技術もドイツに教えてもらっていた。次回は本土の展示も見たいし、昭和後期(昭和50年代)の世相も見たい。(40代・男性)
- ・初めて見る写真がたくさんあって興味深かった。戦争体験をした方々の苦労を風化させないよう定期的に開催して欲しい。ポスター展は今見てもおしゃれたなと思うデザインが多くて楽しかった。(40代・女性)
- ・昭和館はチラシなどで存在は知っていたが遠くて実際に脚を運べず今回沖縄に来てくれた事はとても嬉しかった。写真のサイズ・キャプションも見やすかった。何よりも実際のモノの展示がとても良かった。ポスターコーナーは現在でも通用するほどデザインが素晴らしい。特に印象的なのはプロパガンダとしてデザインをしてきたデザイナーだ。戦後その心の傷は大きな罪悪感で重石のようであっただろう。仕方なかったではすまされない事ではあるが、デザイナー達もまた戦争被害者の一人であったと感じられた事はとても大きかった。沖縄本土復帰「50年」から「50周年」なのか。言葉一つの意味で大きく伝えたい事が変わると思う。(30代・女性)
- ・沖縄の戦時中の様子が写真やモノを通じて感じる事ができた。ポスター展示ではその時代の潮流が伝わってくる。復興には多大な労力・時間を要するのだなと感じた。今生きている時代や生活に感謝して生きようと思う。(20代・女性)
- ・映像コーナーを見て戦争当時の事についてよく知る事ができた。戦争をしてはいけないと改めて感じた。(高校生・男性)
- ・戦前から戦後の沖縄の暮らしや街並みの様子が良くわかった。写真やポスターなど説明があって分かりやすい。戦争のない世界になって欲しいと思う。(中学生・女性)